

金峯山寺 国宝仁王門 平成の大修理 修理勧進ご寄付のお願い

金峯山寺の国宝仁王門は、南北朝時代に建立されたと伝える当山伽藍のうち、もっとも古い木造古建築で、険峻な山岳地に建つ楼門として日本を代表する巨大建造物とされています。さらに門内に安置する仁王像は国の重要文化財の指定を受け、奈良・東大寺南大門の仁王像に次ぐ大きさを誇る記念碑的大作であります。

その仁王門は七〇〇年にわたる星霜の間、南北朝争乱の戦火に耐え、太閤秀吉の吉野大茶会を始めとして数多くの歴史の舞台になり、吉野山を訪れる幾多の武将や、俳聖芭蕉など著名な文人墨客を見守ってきました。

そして日本古来の宗教・修験道の総本山である金峯山寺は、山伏たちの根本道場として、この門をくぐって大峯の山々に分け入るたくさんの修行者を迎えてきました。

仁王門は平成十六年には、「紀伊山地の霊場と参詣道」として、ユネスコの世界文化遺産の登録資産にも指定されています。

このたび、金峯山寺では平成の大修理として仁王門の修復を発願しました。建立以来、たびたび修理を重ねて今日に至っておりますが、近年は永年にわたる山岳高所の風雨にさらされ、傷みも激しくなり、柱石が割れたり、創建当時の屋根瓦の劣化が止まらぬ状況となりました。そこで平成三十一年の着工を目指して、計画を進めている次第です。

この修復工事では瓦や木材などを可能な限り再利用し、劣化した瓦につきましても、粉碎後、再度新たな瓦に焼き直し使用して、先人の思いと財産を後世に伝えるべく計画中であります。

つきましては、ご本尊や先人への報恩に謝する大事業に、縁を繋いでご参加ご協力をいただきたく、広く多くの方々にお願いとるところとなりました。

膨大な修理費調達のため、何とぞ深いご理解を賜り、後世へ長く伝え守ることが出来ますように、ご法援賜りますことを切にお願ひ申し上げます。

合掌

総本山 金峯山寺

瓦寄進 一口 三、〇〇〇円

瓦寄進申込書

国宝仁王門修理勧進に際し寄付を申し込めます。

() 口 金 円也

ご住所 〒

お名前